平成２９年９月１４日

保護者の皆様

西東京市立谷戸第二小学校
校　長　　諸岡　　浩

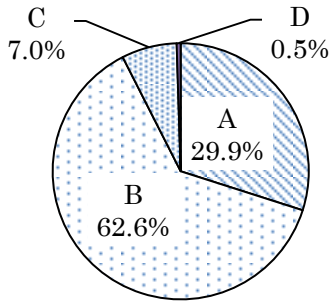
平成 29 年度　前期学校評価アンケートの結果

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力いただき、ありがとうございます。さて、７月末にご回答いただきました学校評価のお礼とご報告をいたします。この結果は、保護者の皆様からの貴重なご意見として受け止め、今後の教育活動に生かしていきたいと思います。なお、本校のホームページにも公開しますので、ご覧ください。

１　保護者アンケートの結果

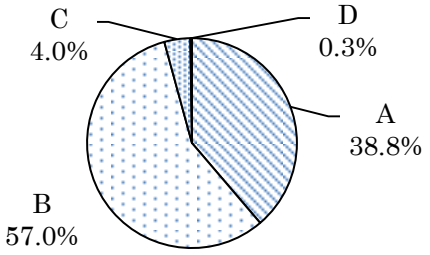
（　Ａ＝とてもそう思う　Ｂ＝そう思う　Ｃ＝あまりそう思えない　Ｄ＝そう思えない　）

１　学校は、児童のよさを見付け、認め、必要に応じて問い返し、挑戦を励ます言葉かけを行っている。



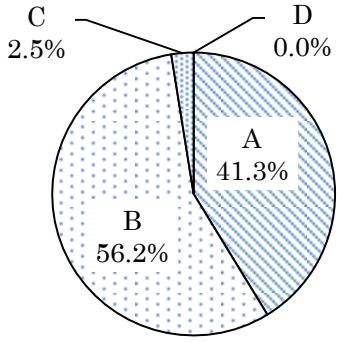
９２％の方にＡ・Ｂの評価をいただきました。私たちも嬉しいことと受け止めています。さらに、児童を認めていく姿勢を大切にしていきたいと思います。

２　学校は、大型テレビや書画カメラ、そして、思考ツールやミニホワイトボード、付箋紙などを活用して「見える・わかる」授業づくりを進めている。



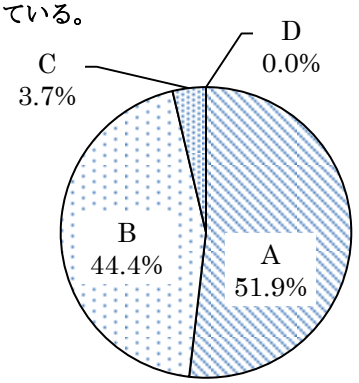
Ａ・Ｂ合わせての９６％の評価をいただきました。ＩＣＴの活用が高まることが予想される時代に合わせた学習改善など、引き続き取り組んでいきます。

３　学校は、算数科の習熟度別学習や、朝の東京ベーシックドリルの時間、レビュータイムを活用し、算数科の基礎力を高めている。



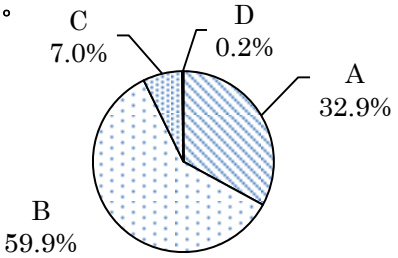
東京ﾍﾞｰｼｯｸﾄﾞﾘﾙ、ﾚﾋﾞｭｰﾀｲﾑの活用については、Ａ・Ｂ合わせて９７％の肯定的な評価をいただきました。前年度に比べ、かなり高い評価をいただきました。その理由に、本年度より朝のﾍﾞｰｼｯｸﾀｲﾑの時間を作ったことを評価していただいたことと受け止めています。今後も充実した時間となるよう努めてまいります。

４　学校では、長縄週間等の体育的活動が毎学期、計画的に行われ、体力向上と挑戦する心を育てている。



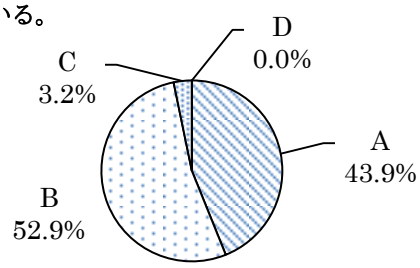
体育的活動についても、Ａ・Ｂ合わせて９６％の肯定的な評価をいただきました。毎年定期的に行っているため、児童にも根付いていることからの成果と、考えました。これからも続けていきたいと思います。

５　学校は、生活科と総合的な学習の時間の授業の充実を通して、課題解決のために探究し協働する態度を育成し、思考力・表現力が高まっている。



探究と協働のある学習については、A・B合わせて９２％でした。生活科・総合的な学習の時間の研究も３年目になり、児童の思考力･表現力が高まってきていることを感じている現状です。学力調査による本校の児童の結果からもうかがえることです。今後も充実した授業を行うことができるよう、努めてまいります。

６．学校は、保護者や地域の方々にボランティアやゲストティーチャーを依頼し、地域に開かれた教育活動を、保護者・地域と協働して実施している。



保護者ボランティアについては、A・B合わせて９６％の評価をいただきました。保護者ボランティアの皆様のお陰です。今後ともよろしくお願いいたします。

２　保護者アンケートの分析

今回のアンケート結果について、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせて約９割に全ての項目で達するという評価をいただきました。昨年度、課題となっていた「算数指導法の改善」についても、高い評価結果が出て、成果としてとらえています。また、「あまりそうおもえない」「そうおもえない」と評価いただいたところがある部分については、謙虚に受け止め、学校運営に努めてまいります。

３　児童対象アンケートの結果

評価　４ そう思う　３ だいたいそう思う　２ ややそう思う　１ そう思わない	4	3	2	1
①　先生は、よさをほめてくれたり、新しい学習に挑戦したくなるような言葉をかけていましたか。	66%	24%	8%	2%
②　道徳の授業では、「わたしたちの道徳」等を活用し、考えたり、話し合ったりしましたか。	54%	29%	10%	7%
③　授業の初めには「めあて」を確かめ、授業の終わりには「ふりかえり」を行うことができましたか。	78%	16%	5%	1%
④　授業では、国語で学んだことを生かし、自分で考えたり皆で考えたりすることができましたか。	62%	27%	9%	2%
⑤　授業では、テレビ画面や写真等を目で見て確かめたり、手を動かして確かめたりすることができましたか。	61%	29%	7%	3%
⑥　東京ﾍﾞｰｼｯｸﾄﾞﾘﾙでできないところを確認したり、ﾚﾋﾞｭｰﾀｲﾑでできなかったところができるようになったりしましたか。（２年以上）	55%	23%	14%	8%
⑦　生活科や総合的な学習の時間には、めあてをもって自分で考えたり、皆で考えたりしたことをまとめたり表現したりするなどの学習ができましたか。	65%	26%	7%	2%
⑧　体育の学習や長縄集会などの活動では、楽しく運動ができましたか。	76%	15%	6%	3%

４　児童アンケートの分析

８項目中７項目において８割から９割の児童が「そう思う」「だいたいそう思う」と答えています。

これは、昨年度のアンケートと同様、学校生活の多くの場面で満足傾向にあると捉えられます。特に「授業のめあてとふりかえり」については９４％の児童が「よい」と評価しており、昨年度までの授業研究の成果が表れました。

一方、「東京ベーシックドリルやレビュータイム」に関する項目については、８割に満たないという結果が出ています。このことにつきましては、原因をさらに、精査して、適切に対応していきたいと思います。

また、８割には達してはいたものの、「おもわない」と７％の児童が評価した「道徳の授業」のついては、真摯に受け止め、教員の道徳研修を行い、改善していきたいと思います。

５　学校評価のまとめについて

この評価の結果を受けて、学校教職員で話合いを深めるとともに、今月の学校関係者評価委員会にて討議していただくことになります。学校としての特色は２学期も充実した教育課程に反映させていきます。今後の課題と判断されるものについては、具体的な対応を進めてまいります。

６　保護者からのご意見について

（１）学校で一生懸命している姿を見て思考力・表現力の高まりを感じている。

（２）レビュータイムは、分からなかったことが分かるようになったり、お休みした分を取り戻したりといい制度だと思い、有難く頼もしく思う。皆で足並み揃えて学んで大きくなっていくぞという感じがして、谷戸二小で良かったと思う。

（３）オリンピック選手の話を聞けるなど、とても良い経験になっている。

（４）対応が早く、親と子の関係よりも冷静な分、親の判断よりも正確だと感じることが多くありました。その子の問題が解決するまで、家庭とも連携をとっていただけました。よく子どもたちを見てくれていると感じています。

（５）ボランティアが必要な際にはお声かけください。

⇒ありがとうございます。よろしくお願いします。

（６）・よくわからないことは「Ｃ」にした。

・保護者から観察できないものばかりで回答に困る。わからないという選択肢も必要ではないか。また、結果についても配布数、回答数を公表すると、どの程度意味のある結果なのか判断できると思う。

⇒来年度に向けて、アンケートの集計のまとめ方や、回答の項目を検討します。

（７）下校時刻の一覧表を以前のようにいただけると助かる。

⇒毎月配布する学年便りの行事予定に明記しています。ご参照ください。

（８）兄弟学年交流の「なかよし班」を活用してほしい。遠足での班行動がきっかけで仲良くなったり、校外であっても手をふりあう姿が見られていた。進級しても「〇年生の時になかよし班で一緒だった」と思い出話を聞けました。中学見学でもそういう姿が見られ、少しでも知り合いがいると良いと思いました。

⇒本年度は、読み聞かせの交流を「なかよし班」で行うという、新たな取り組みを計画しています。今後も学年交流の機会を増やしていきたいと思います。

（９）学校公開もよいのですが、普段の何気ない姿も見たいと思いました。

⇒いつでも、ご参観いただけますので、ご来校ください。

（１０）小学校は地域の存在として、とても重要だと思うので、学校公開等で近隣の住民と交流を多くもつべきだと思う。

⇒地域学習については、学校でも重要と考え、日常的に取り組んでいます。保護者の皆様にも、積極的に子供たちの地域活動の情報をホームページなどを通して発信していきたいと思います。

※　他にもご意見をいただきました。教職員一同授業改善を進め、より一層の教育活動の充実を図っていきたいと考えています。今後とも本校の教育活動へのご協力をよろしくお願いいたします。